



運動会に代わる体育参観で各学年の表現運動を披露しました。

7月1日(木)、天候にも恵まれて運動会に代わる体育参観を実施することができました。9時に1年生がスタートし、10分の表現の後、15分間で参観の保護者の入れ替えをしながら、最後の6年生の終了時刻が11時15分でした。

緊急事態宣言解除後の6月21日(月)から2週間弱の練習でどこまで仕上がるか心配でしたが、どの学年も全力で演技をし、見ていた保護者の方々も満足そうでした。

昨年度は、運動会も発表会もなく、久しぶりに全校で取り組んだ表現の場でしたが、大きな達成感を得ることができ、行事の大切さを改めて感じた次第です。

これから、1学期末の学習の締めくくりの時期となりますが、8月には野外活動、9月には修学旅行、11月には学習発表会とコロナ対策をしながら学校行事を行う予定です。

P T A 役員や委員の皆様には、今回の体育参観で多くのお手伝いをいただき感謝しております。次の行事においても応援や支援をいただきますよう、重ねてお願いいたします。



6月末現在で77人の児童が、あいさつ名人になりました。

大竹小学校の今年度の学校教育目標「みんなで伸びる」の取組の1つとして、あいさつ運動があります。

「常に聞こえる声であいさつをする」を目標の基準とし、全校で取り組んでいますが、その目標を達成できたと思える児童に、教師や地域の方から「あいさつカード」を渡すこととしています。登下校時や正門、校舎内で「あいさつカード」を笑顔でもらう場面をよく見かけ、児童の意欲や元気につながって、たいへん素晴らしい取組となっています。

中でも、「あいさつカード」が10枚たまった子には、「あいさつ名人バッジ」が進呈され、名札の上に付けることとなっていますが、6月末現在で77人の児童があいさつ名人となり、児童玄関に掲示しています。

これからも、今以上に元気にあいさつをする子を増やし、活気あふれる大竹小学校にしていきたいと思えます。

